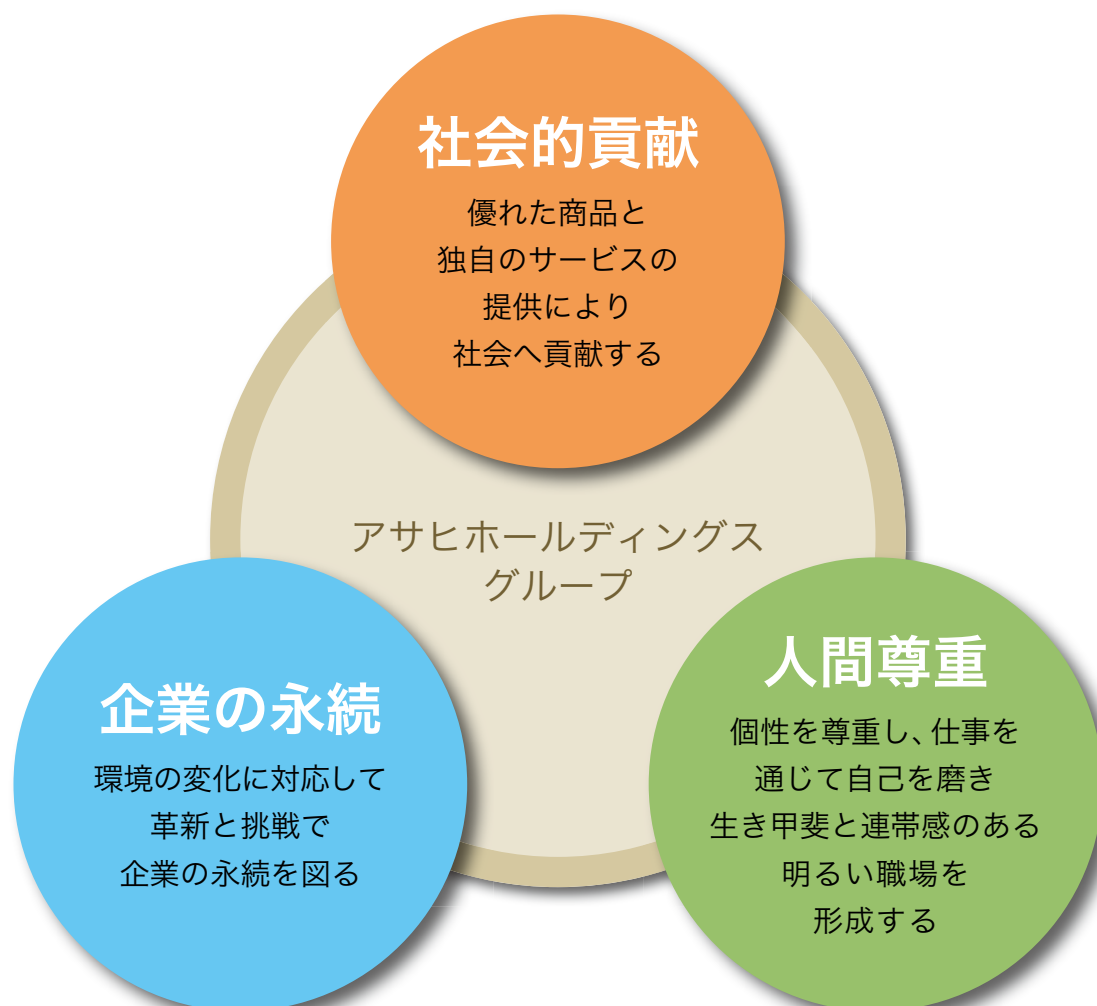


Company Overview

アサヒホールディングスグループは、
お客様や社会からの要請に対して
誠実にお応えし、
良識ある企業集団としての
責任を果たしてまいります。

経営理念



グループスローガン

「V11～変革と創造を進めよう～」

アサヒホールディングス設立の初年度からの3年間を
「新たな創業期」と位置付けて、グループ全員が一丸となり、
次代に向けた「変革と創造」に取り組んでいます。



TOP MESSAGE

「この手で守る自然と資源」
持続的発展が可能な社会をめざして

将来の成長に向けて布石を打った2010年

2009年4月からスタートした第5次中期経営計画では、「金属リサイクル事業分野の拡大」「環境保全事業の拡大とM&Aの継続」を重点方針として掲げています。これら成長戦略の一環として、2010年は新規事業とM&Aへの集中投資を行いました。

新規事業拡大のために、兵庫県尼崎市と韓国忠州市に開設した工場が2011年1月に稼働いたしました。尼崎新工場では電子部品製造のさまざまな工程で発生する余剰材、端材およびアーバンマイン（都市鉱山）といわれる使用済みパソコン、携帯電話等各種情報機器に使用されている電子基板類からの貴金属リサイクルを行っています。韓国では、エレクトロニクス分野から回収した貴金属原材料を現地工場でのリサイクルするとともに、日本国内で培ったノウハウの蓄積を生かしてデンタル事業の海外展開を進めています。さらに経済発展が著しい中国では、グループ会社の上海朝日が現地有力企業と合併会社を設立し、広東省江門市で廃自動車触媒からの貴金属リサイクル事業の立ち上げに取り組んでいます。このように貴金属リサイクル事業分野においては、リサイクルのすそ野を広げるとともに、高い経済成長を続けるアジア市場の発展を自社事業の拡大に結びつける戦略です。いずれの事業も当社の新たな収益の柱として大きな期待を寄せています。

環境保全事業分野においては、2010年8月に廃棄物焼却処理施設などから排出される燃え殻、煤塵、汚泥等のコンクリート固型化処理を行うエコマックスを子会社化し、これまで通り積極的にM&Aを推進しています。今後処理品目の拡大と事業のシナジー効果を追求するとともに、お客様の視点に立ったサービスの充実に努めます。また新規事業としましては、2011年1月にジャパンウエイストが横浜市に事業所を開設し、廃油の再生燃料化、汚泥等からのセメント原材料化および廃木材の再資源化を開始しました。これらの事業は、「自社の事業活動から排出される廃棄物を資源として有効活用し、環境負荷の低減をはかりたい」というお客様のニーズにお応えできるものと考えています。

に、お客様の視点に立ったサービスの充実に努めます。また新規事業としましては、2011年1月にジャパンウエイストが横浜市に事業所を開設し、廃油の再生燃料化、汚泥等からのセメント原材料化および廃木材の再資源化を開始しました。これらの事業は、「自社の事業活動から排出される廃棄物を資源として有効活用し、環境負荷の低減をはかりたい」というお客様のニーズにお応えできるものと考えています。

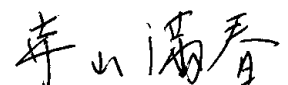
コンプライアンスとリスクマネジメントを両輪としたCSR経営を実践

企業が着実に成長を続け本業を通じた社会的責任を果たしていくためには、その基盤となる生命と安全の確保とともにコンプライアンスを最優先で考えなければなりません。当社では日頃から主要なリスクを想定した災害防止対策の実施と安全に関する知識および技術の習得、向上に取り組んでいます。また各部門の代表からなる内部統制推進会議を定期的開催し、リスクマネジメントの徹底に努めています。コンプライアンスの推進とリスクマネジメントについては継続的な改善を図り、CSR経営を実践しています。

2012年に当社は創業60周年を迎えます。現中期経営計画の最終年度でもある節目の年に輝かしい実績を残せるよう、一層努力を傾けてまいります。引き続き皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2011年5月

代表取締役会長兼社長



コーポレート・ガバナンス

持株会社制への移行を契機に、より強固なグループ・ガバナンスの構築とリスクマネジメントの推進をめざします。

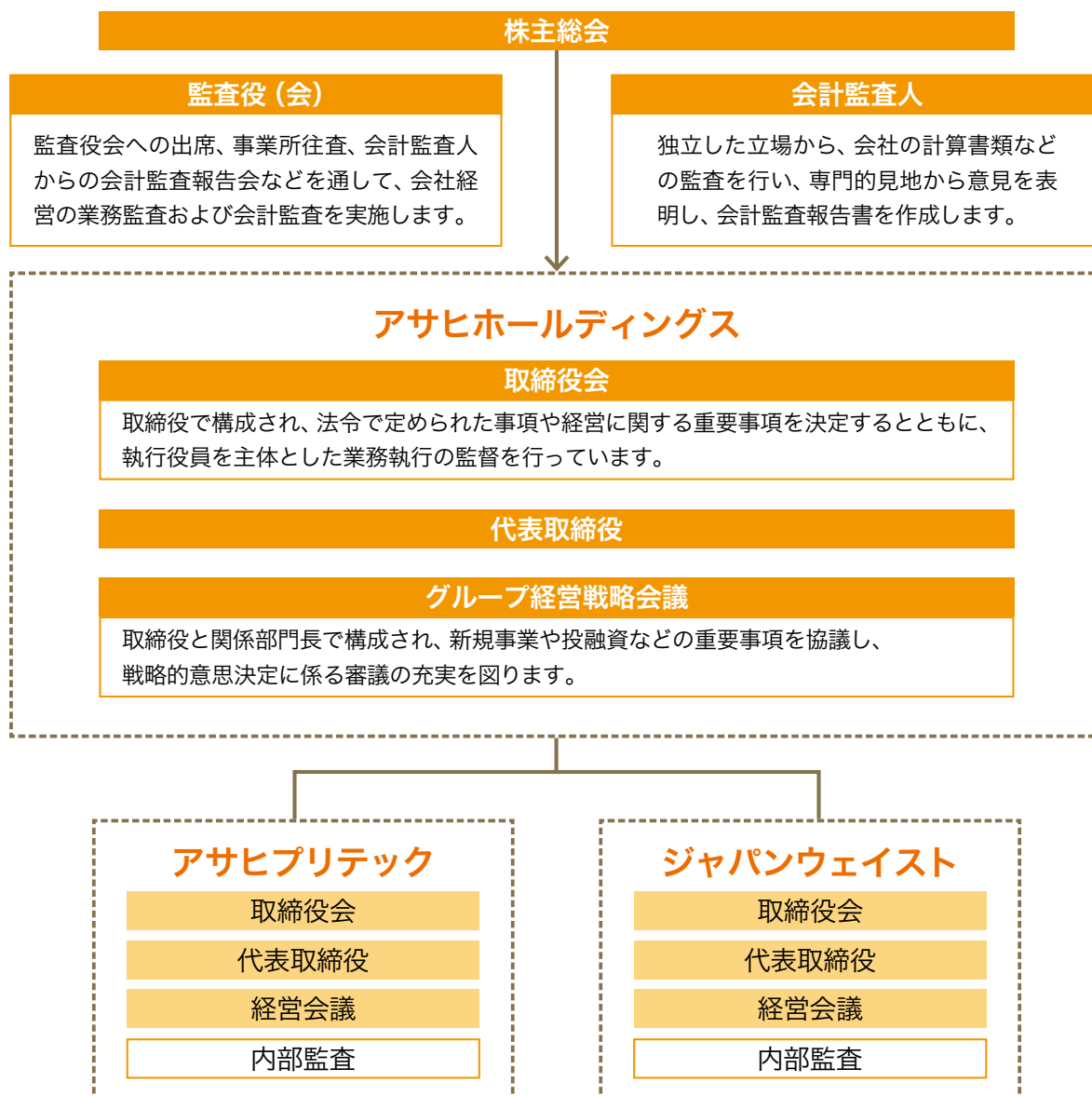
コーポレート・ガバナンスに関する考え方

持株会社であるアサヒホールディングス株式会社は、グループのガバナンスの中心にあって、グループ全体の戦略機能を担い、リスク管理と対外的な説明責任を負うスリムな組織体として業務を遂行しています。

事業会社であるアサヒブリテック株式会社とジャパン

ウェイスト株式会社は、分野ごとの特性に応じた迅速な意思決定と最適な業務執行体制により事業を推進し、競争力の強化と収益力の拡大を図っています。各社がその責務を果たすことにより、すべてのステークホルダーに対する企業価値の最大化に努めています。

グループ・ガバナンス体制



内部統制対応システムの整備

取締役会規則、監査役会規則、執行役員規程、内部監査規程、内部統制規程などの制定、金融商品取引法に対応したマネジメント体制の確立などにより、グループ内部統制の整備を図っています。

また、2009年6月よりグループ内に社外取締役を設置し、2010年3月より持株会社に独立役員を選任するとともに、2010年6月より持株会社に社外取締役を選任しています。今後も、外部の視点を取り入れ、コーポレート・ガバナンスの一層の充実に取り組みます。

リスクマネジメントについて

アサヒホールディングス自身が、グループ全体の「リスクマネジメント機能」を保有しています。可能な限りリスクを事前に予知し、未然防止を図るとともに、危機に発展した場合の経済的・社会的損失を最小限とするために、事業活動上のリスク把握、評価および対策を実施しています。こうしたリスクマネジメントの適切な運用により社会的責任を果たし、ステークホルダーからの信頼が得られるよう努めています。

コンプライアンスについて

廃棄物関連の事業は行政の許認可にもとづいており、常に高い遵法意識と行動が求められています。コンプライアンスの規程やマニュアルを整備し、また、全社員に対し社員教育の場や社員相互のコミュニケーションの場で遵法意識を浸透させ徹底させる取り組みを行っています。



情報保護教育

社員の判断基準 「グループ倫理綱領」

役員および社員の意思決定や行動に際して、法令遵守の精神と倫理観を持って行動することを求めています。そのために、日常業務場面に即した具体的な内容を例示し、役員および社員は倫理綱領の理解と実践に努めています。

法令倫理・公益に 反する事項についての 社外相談窓口を設置

社内で違法または不当な行為などの問題を早期に発見し解決するために、社外の法律事務所を窓口とする「アサヒホットライン（内部通報制度）」を設置しており、匿名での申告も受け付けています。通報案件に関しては、申告者や被申告者のプライバシー保護について配慮し、調査や是正措置を講じる体制を整備しています。同相談窓口の設置については、社内イントラネットのトップ画面に表示し、全社員に周知しています。

グループ概要

貴金属リサイクルと環境保全事業を中心に事業活動を展開し、地球環境の保全に貢献しています。

アサヒホールディングス株式会社

●会社概要

創 業：1952年7月

設 立：2009年4月

資本金：4,480百万円

代表者：寺山 満春

本 社：〒650-0001

兵庫県神戸市中央区加納町4-4-17

ニッセイ三宮ビル16F

〒100-0005

東京都千代田区丸の内1-7-12

サピアタワー 11F

社員数(連結)：1,218名(2011年4月現在)

URL <http://www.asahiholdings.com>

役員一覧：

代表取締役会長兼社長

寺山 満春

取 締 役 櫻井 勉

取 締 役 武内 義勝

取 締 役 東浦 知哉

社外取締役 森井 章二

監 査 役 田辺 幸夫

社外監査役 徳嶺 和彦

社外監査役 小島 順三

(2011年6月17日現在)

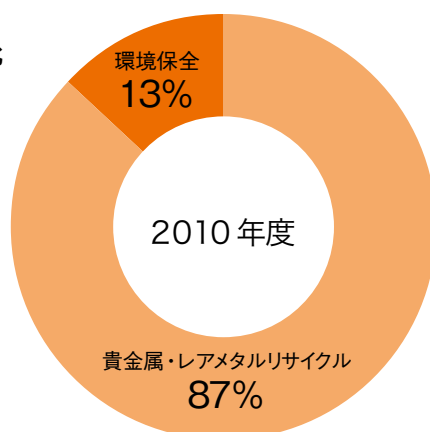


神戸本社



東京本社

●事業セグメント別 グループ売上高構成比



アサヒプリテック株式会社

●会社概要

事業内容：貴金属・レアメタルリサイクルおよび
産業廃棄物処理

代表者：櫻井 勉

本社：〒650-0001
兵庫県神戸市中央区加納町4-4-17
ニッセイ三宮ビル16F
〒100-0005
東京都千代田区丸の内1-7-12
サピアタワー 11F

社員数：882名

URL <http://www.asahipretec.com>

<国内拠点>

研究所：テクノセンター（神戸）

工場：埼玉、尼崎、神戸、愛媛、福岡、北九州、北九州ひびき
リサイクルセンター：埼玉、千葉、尼崎

営業所：札幌、青森、仙台、新潟、北関東、関東、横浜、
甲府、静岡、名古屋、北陸、神戸、岡山、広島、四国、
福岡、北九州、鹿児島、沖縄

<海外拠点>

Asahi G&S Sdn. Bhd.（マレーシア）

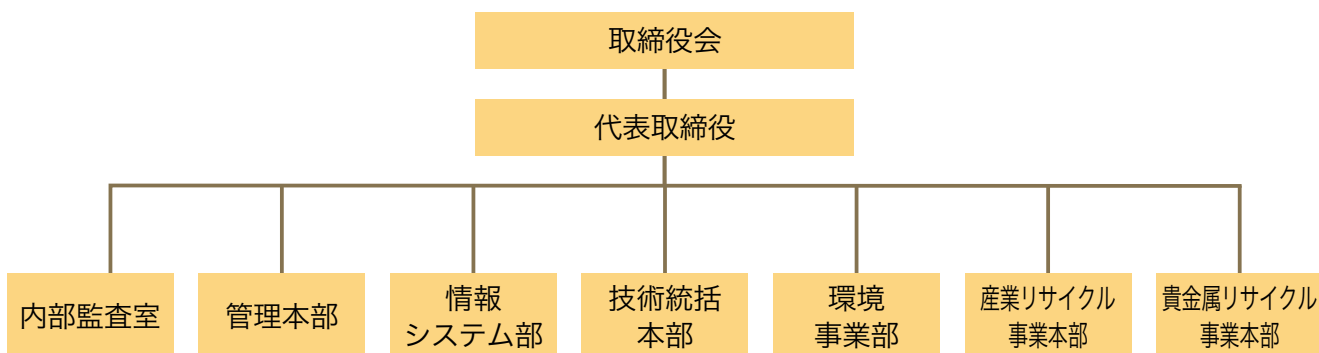
上海朝日浦力環境科技有限公司

江門朝日福資源综合利用有限公司

韓国アサヒプリテック株式会社

（2011年4月現在）

●組織図（アサヒプリテック株式会社）



ジャパンウェイスト株式会社

●会社概要

事業内容：環境保全

（産業廃棄物処理およびその他の環境保全事業）

代表者：武内 義勝

本社：〒650-0001
兵庫県神戸市中央区加納町4-4-17
ニッセイ三宮ビル16F
〒100-0005
東京都千代田区丸の内1-7-12
サピアタワー 11F

社員数：308名

URL <http://www.japanwaste.co.jp>

<国内拠点> 横浜

<関係会社>

日本ケミテック株式会社（本社：埼玉県川口市）

JW ガラスリサイクル株式会社（本社：東京都江東区）

富士炉材株式会社（本社：東京都大田区）

エコマックス株式会社（本社：神奈川県寒川町）

株式会社三商（本社：横浜市）

株式会社塩入建材（本社：長野県長野市）

株式会社イヨテック（本社：兵庫県明石市）

株式会社太陽化学（本社：鹿児島県鹿児島市）

（2011年4月現在）

事業紹介

貴金属リサイクル事業

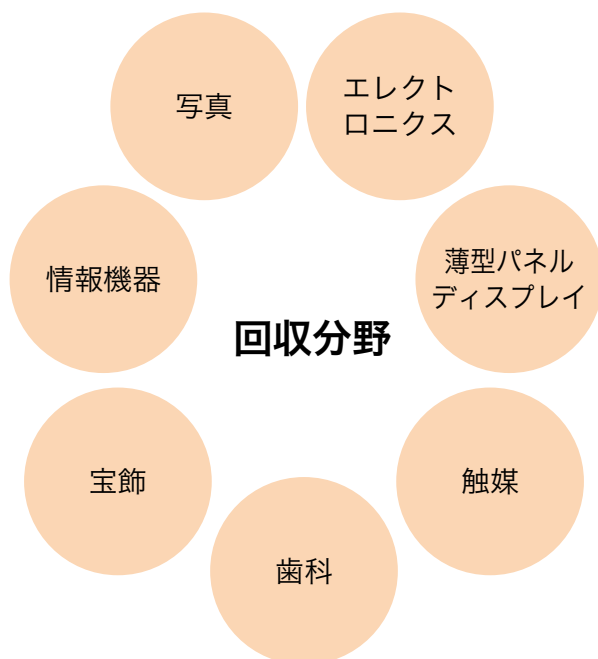


**限りある資源を有効活用し、
地球と社会のために
貢献しています。**

アサヒブリテック株式会社を核として、私たちはさまざまな分野から発生する貴金属・レアメタル含有スクラップを回収し、リサイクルしています。金・銀・パラジウム・プラチナ・インジウムなど現代のモノづくりに欠かせない貴金属・レアメタル製品として再生することにより、資源の有効活用と産業の発展に貢献しています。

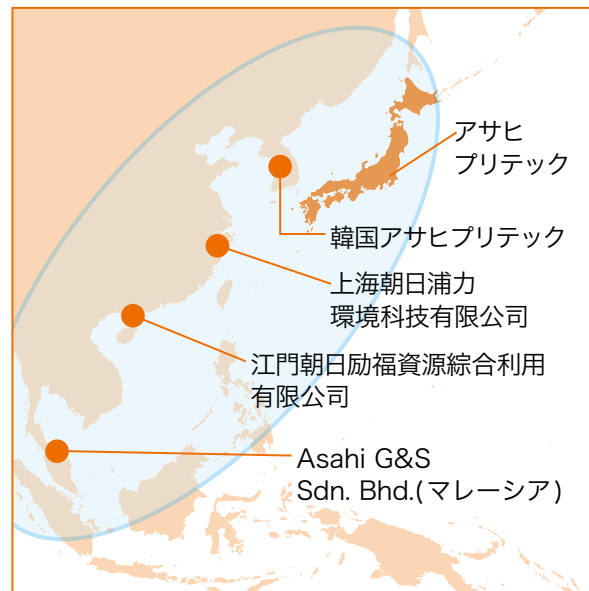
貴金属原材料の回収分野と地域は多岐にわたります。

独自の技術・ノウハウと国内外の営業ネットワークを活かし、エレクトロニクス・薄型パネルディスプレイ・触媒・歯科・宝飾・情報機器・写真などのさまざまな産業分野



から貴金属・レアメタル資源を効率よく回収しリサイクルしています。

●営業ネットワーク



確かな品質が国内外で高い評価を受けています。

アサヒプリテックは(社)日本金地金流通協会の正会員で、金・銀・プラチナ・パラジウムの地金は、東京工業品取引所の受渡供用品としてブランド認定を受けています。さらに、金・銀はLBMA (The London Bullion Market

Association)、プラチナ・パラジウムはLPPM (The London Platinum and Palladium Market) のグッド・デリバリー・パーとして認定を受けており、確かな品質が世界のマーケットで高く評価されています。

TOPICS 1

尼崎新工場が本格稼働

阪神事業所にいわゆる都市鉱山(使用済みパソコン、携帯電話等)からの貴金属・レアメタル回収(Eスクラップ事業)の強化を目的とした新工場を開設しました(P13)。当社がこれまでに蓄積した技術をベースに最新技術を導入し、新しい事業分野の確立をめざします。



TOPICS 2

韓国アサヒプリテック工場が稼働

韓国アサヒプリテックは、ソウル市の南東100kmに位置するチュンジュ市に営業所棟を併設した工場を竣工しました。新たな事業拠点を中心に、韓国でのエレクトロニクス関連事業の拡大をはかるとともに、海外では初めてとなるデンタル事業を推進します。



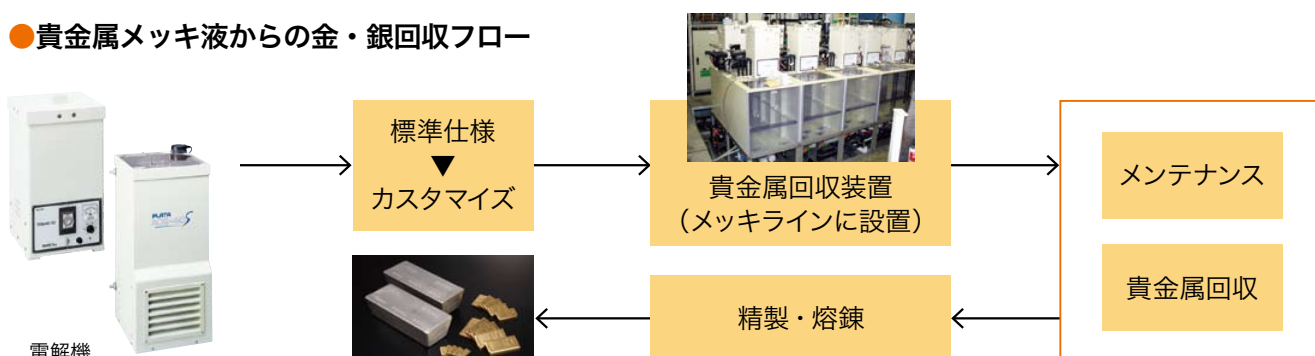
事業紹介 貴金属リサイクル

エレクトロニクス関連

電子材料分野では、パソコン、携帯電話などに使用される電子部品、プリント基板などの製造工程での、貴金属・レアメタルの回収やリサイクルのニーズに卓越した技術で対応しています。表面処理ではメッキ液に含まれる貴金属を中心としたリサイクル事業に取り組んできました。独自開発の電解式貴金属回収装置「ZIPANG」・「PLATA」

をはじめ、ユーザーの製造ラインに対応した多様な回収システムを提案しています。金、銀、パラジウムなどの貴金属回収に加え、レアメタルなどの再資源化や水処理・再利用など環境に配慮した回収技術を合わせて提供します。また、工程内端材、廃基板等（Eスクラップ）からの貴金属リサイクルニーズにも対応しています。

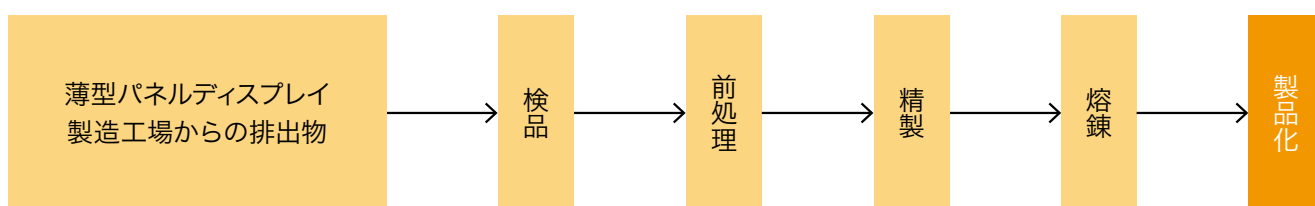
●貴金属メッキ液からの金・銀回収フロー



薄型パネルディスプレイ関連

液晶テレビ、プラズマテレビなどに使用している薄型パネルディスプレイの分野では、各々インジウム、銀などが使用されています。中期的に薄型パネルディスプレイ市場は高い成長率を維持するといわれており、貴金属・レア

メタルのリサイクルがますます重要なテーマとなっています。当社は独自の高度な技術により、これら貴金属・レアメタルのリサイクルに取り組んでいます。



触媒関連

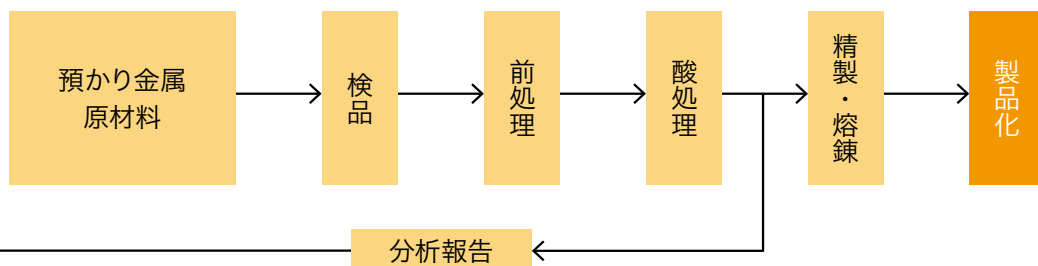
触媒分野では、大気汚染防止法、自動車分野におけるNOx・PM法など、排ガスに対する環境規制に従い、自動車触媒として貴金属が使用されています。当社は独自の技術ノウハウにより、自動車触媒、化学触媒などからの貴金属リサイクルに取り組んでいます。



自動車触媒

歯科関連

歯科医院や歯科技工所から排出される撤去冠・铸造くずなどは貴重な貴金属資源です。当社独自の管理システムにより、工程ごとに二重三重のクロスチェックを行い、分析納期の短縮、分析数値の精度アップを実現します。



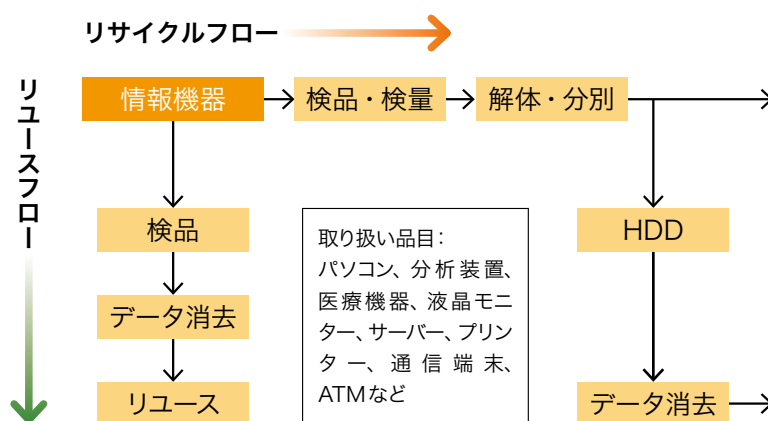
宝飾関連

高度な分析・貴金属精製技術にもとづき、宝飾品の製造過程で発生するバフ粉や電解研磨液等の回収および流通過程等で求められる各種リサイクルに対応しています。また、宝飾品製造団体の「貴金属スクラップの回収・分析」において業務委託を受けており、当社の長年の実績に対してお取引先の皆様から厚い信頼をいただいております。

情報機器関連

全国のオフィス・工場・データセンターなどからパソコンをはじめとする情報機器などを回収し、徹底した素材分別を行うことにより、使用素材を再資源化し、環境負荷の低減をめざしています。HDD（ハードディスクドライブ）

のデータを完全消去するなど、企業情報・個人情報の漏洩を防止し、情報セキュリティに責任を持って取り組んでいます。

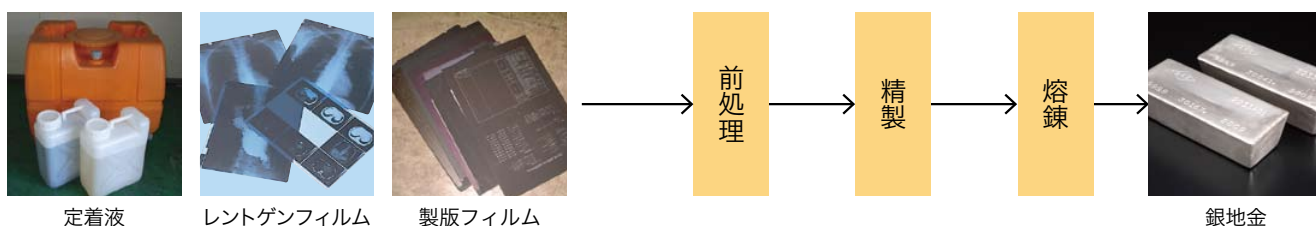


*リサイクルセンター（埼玉・尼崎）はISO27001認証を取得しております。

写真関連

写真現像所、医療機関、印刷製版所などから排出される写真廃液、レントゲンフィルム、製版フィルムなどを回収し、銀のリサイクルと無害化処理を行っています。また、ミニラボから排出されるフィルムケース、パトローネ、

薬品ボトルは、圧縮・破砕処理後に素材原料として再利用するゼロエミッション・マテリアルリサイクルを実現しています。



RESEARCH & DEVELOPMENT

研究開発

常にニーズを先取りし、蓄積された要素技術の応用と新技術の開発を通じて、新製品、新事業の創生に努めています。

- ① 貴金属・レアメタルの分離・精製・分析技術
- ② 貴金属成形加工技術
- ③ 電気分解応用技術
- ④ 環境保全・再資源化技術



分析

当社グループ分析機能の中核として、最新分析機器と高度な分析技術で多岐にわたる企業活動を支援しています。また、お客様、お取引先の信頼を確実に保持し、高める役割を担っています。

- ① 新規分析技術の開発
- ② 各工場・営業所分析グループの技術指導
- ③ 貴金属製品や歯科用合金の純度分析
- ④ 工場排水などの環境分析
- ⑤ 環境計量証明事業



高周波誘導結合プラズマ質量分析計 (ICP-MS)

生産技術

最先端技術を駆使し、各分野のエキスパートが、国内拠点・海外拠点の設備の設計・製作・施工・メンテナンスを行い、設備の安全かつ安定的な操業の支援をしています。

- ① 設備および建屋の設計・製作・施工・管理
- ② 既存設備の維持管理・メンテナンス
- ③ 顧客先への貴金属回収設備の設置・アフターサービス

TOPICS 環境に配慮し最新技術を導入した尼崎新工場

阪神事業所に開設した新工場では、電子・半導体産業の工程から出る端材・廃材や、使用済みのパソコン・携帯電話・各種情報機器に使用されている電子基板類から貴金属・レアメタルを回収するために、原料に応じた専用ラインで処理しています。

主な設備は破碎装置、高周波溶融炉、加熱処理炉、サンプリングシステム、各種分析装置などです。一連の設備により、従来と比較して処理時間を大幅に短縮できるとともに、分析精度も向上し、お客様のニーズと信頼にお応えしています。工場では排ガスや排水の処理を適切に行い、動力・照明・空調の省エネを推進し環境への配慮を行っています。

事業紹介

環境保全事業



**廃棄物処理のエキスパートとして、
持続可能な循環型社会の
実現に取り組んでいます。**

私たちは、各種廃棄物の無害化・適正処理を行い、地球環境問題の解決に貢献しています。グループ会社が長年それぞれの分野で培ってきた独自技術の提供を通して、お客様の多様なニーズにお応えします。

さまざまな廃棄物のグループ内 ワンストップソリューションをめざしています。

産業廃棄物・特別管理産業廃棄物のほとんどの品目について収集運搬および中間処分の許可を取得し、適正かつ迅速に処理できる体制づくりをしています。さらに、

産業廃棄物の卓越した無害化処理技術とゼロエミッションの確立を進め、環境分野におけるグループ内ワンストップソリューションの実現をめざしています。



特定有害廃酸・廃アルカリ・ 廃試薬処理

工場や事業所から排出される廃酸、廃アルカリや大学・民間企業の実験室や研究所で不要になった廃試薬は適正処理が必要です。これらの多品種にわたる廃棄物は、徹底した安全管理体制のもと当社グループが長年培ってきた技術を駆使し、各工場専用ラインで無害化処理をしています。また、当社グループの分類基準に沿って容器に分別保管し、収集運搬および保管時の異常反応発生防止措置を行っています。廃試薬瓶のラベルが剥れ、内容物が不明な廃試薬についても当社で分析し、適正処理のサポートを行います。



梱包作業



廃試薬処理設備

廃酸・廃アルカリ・汚泥の 高速微生物処理

工場や事業所からの廃液については有害物質を取り除いた後、窒素・リンを含む場合でも、微生物処理等の独自技術によって排出基準値未満まで浄化し、放流しています。特に、エネルギー消費や二酸化炭素排出量は、他の処理方式との比較で低くなっています。

また、廃液の中和・脱水後の汚泥は、非鉄金属や鉄鋼の原料として再利用されています。一部リサイクルできない汚泥は、埋立処理されます。

有害廃棄物の洗浄処理

半導体メーカー、電子部品メーカー、研究所などの半導体製造装置・各種研究設備に付着した有害物質を洗浄処理しています。洗浄処理後の装置や設備は素材分別、再資源化することで環境負荷低減を図っています。

有害物のコンクリート固型化処理

ダイオキシン類、重金属等を含む有害な燃え殻・煤塵・汚泥等をコンクリート固型化する設備と技術を有します。

主なリサイクル

●廃油・汚泥等のマテリアルリサイクル

廃油・廃液を中和・混合し、カロリーと成分を調整して燃料化します。汚泥等は混練して成分の均一化を図ることでセメント原料化し、環境負荷低減とリサイクル率向上を図ります。



廃油・製品タンク

●耐火レンガリサイクル

ガラス製造炉の窯解体およびごみ焼却炉などの定期修繕工事で発生する廃耐火レンガは、精緻な分別を行い、耐火レンガや路盤材としての再利用を図るなどリサイクルを意識した処理を行っています。

●ガラスリサイクル

ガラスメーカー、サッシメーカー、自治体などから板ガラス、ガラス瓶などを回収しています。回収した板ガラスくず、ガラス瓶などは自社工場で選別破碎後、高品位のガラスカレットとして再生・販売しています。ガラス原料として再利用できないものは、路盤材としてリサイクルしています。ガラスリサイクルを通じて、鉱物資源の枯渇防止や環境負荷低減を図っています。

●有機性汚泥のリサイクル

食品製造工場、レストランチェーンなどから排出される食品系有機廃液や汚泥は、中和・脱水を行います。ろ液は微生物処理で排出基準値未満まで浄化し、下水放流しています。

汚泥は、発酵・熟成プラントで堆肥化することにより農家の方々にリサイクル肥料として有効利用いただいています。

産業廃棄物処理業として 最大級の営業ネットワークを誇ります。

全国に設置したグループ営業拠点を中心に、きめ細かなサービスを実現しています。

当社グループの取得ライセンス

- 産業廃棄物収集運搬業許可 47都道府県 62政令市
- 産業廃棄物処分業許可 15都道県 10政令市
- 特別管理産業廃棄物収集運搬業許可 47都道府県 62政令市
- 特別管理産業廃棄物処分業許可 12道県 8政令市

(2011年3月31日現在)

幅広い分野で高付加価値サービスの提供に努めています。

各分野に特化した処理技術で、多様化・高度化するお客様のニーズに迅速にお応えします。

